



夏の交通事故防止

8月は、夏季休暇を利用して帰省・レジャーなど、長距離運転の機会が増えます。長距離を運転する際の安全の秘訣は、「控えめ」「こまめ」「あらかじめ」の3つの「め」です。

下の3つの「め」を意識して、事故防止を図りましょう。

一つめ スピードは控えめ

長距離運転では、早く目的地に着きたいなどの理由からスピードを出しがちです。

スピードが上がるにしたがい、**危険の見落とし**など事故の危険が高まります。スピードは控えめに運転しましょう。



二つめ

休憩はこまめ



長時間にわたる連続運転は、疲労を蓄積させ、漫然運転や居眠り運転の引き金になります。

こまめに休憩をとり、疲労の蓄積を防ぎましょう。休憩の目安は、**最初は2時間運転したら休憩をとり、その後は1時間ごとに休憩をとり**ましょう。

三つめ 燃料・水分はあらかじめ

渋滞や事故により、予定していた場所で給油や休憩ができないおそれがあります。

燃料は出発前に給油し、飲み物などの水分はあらかじめ用意しておきましょう。





車両運転中にもし災害が発生したら…

昨年、西日本は大雨により甚大な被害を受けました。今後も台風や大雨など災害の発生が予想されることから、車両運転中等の避難行動について再確認しましょう。

◆ 河川の付近を走行しているときは川の水位や流れに注意しましょう。

河川の急な増水や、濁ったり枝が流れてきたりするときは危険です。

ハザードマップにより危険箇所をあらかじめ把握し、安全な場所へ避難する必要があります。



◆ 冠水している道路は避けましょう

比較的水位が低く（5～10 cm）でも、路面状況がわかりにくいので、絶対に進入せずに、迂回しましょう。排水溝への脱輪や段差へ乗り上げる危険があります。



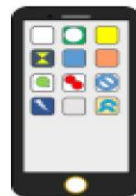
万が一車が水に浸ってしまったときには…！？

すぐに車を止め、慌てずにエンジンを停止させ、避難経路を考えましょう。その際は道路の状況がわからないので一步一步確かめながら、進行方向と逆に避難しましょう。万が一水没した場合には、まずシートベルトを外し、窓が水面より高ければ開けてルーフに上るようにして脱出します。開かないときは、緊急脱出用ハンマーを利用することにより脱出の可能性が高まりますので、常備しておきましょう。

※出典 JAFホームページより



振り込め詐欺に注意！



メールやハガキ等を通じて、『サイト利用料金が未納です』『裁判になります』と手数料等を請求し、電話を架けさせるものや、電子マネーをだまし取る手口もあります。

少しでも怪しいと思ったら家族や警察に相談を！



施設の窓口に掲示するなど、必要な方々にご覧いただけるようご協力ください。

滋賀県警察本部交通企画課 高齢者交通安全推進室 ふれあいチーム

TEL 077-522-1231 (代表) Eメール x0022@police.pref.shiga.jp